

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 平成27年度の主な事業報告

1. 本部事業

(1) 総括報告

①第45回全国ろうあ女性集会は580名集め、成功しました。

第45回全国ろうあ女性集会を平成27年10月23日（金）～25日（日）、富山国際会議場等にて主管開催しました。県外から400名を超える参加者があり、全体で580名となりました。分科会で学習を深め、社会見学と、交流会で富山の観光、味を楽しみました。最終日の記念講演も滞りなく行われ、無事に集会を終了しました。女性部中心の実行委員会が2年かけて準備し、本会と手話関係者の総力で成功することができました。お疲れ様でした。

②手話言語法制定を求める全国集會に派遣しました。

平成27年8月に東京で開催された全日本ろうあ連盟の「手話言語法制定を求める全国集會」は国会議員要請行動、手話言語制定運動成果報告会とアピールウォークが行われました。富山より4名派遣し、富山県選出の国会議員6人本人に面会し手話言語法制定の理解、協力を求めました。また平成27年12月の全国集會でも1名派遣しました。手話言語条例制定の地域に学び、富山県内では特に滑川市、射水市における条例制定への取り組みに繋がっていきました。

③障害者差別解消法及び富山県の障害者差別解消条例に対して意見を出しました。

平成28年4月より施行された「障害のある人の人権を尊重し、県民皆が共に輝く富山県づくり条例」のガイドラインに対する意見を本会で集約し提出しました。また、国の省庁の障害者差別解消法に基づく対応要領、対応指針に対しても意見を出しました。平成28年3月に開催した耳の日福祉集會では障害者差別解消法・条例をテーマに県障害福祉課の担当者を招き、講義とパネルディスカッションで学習を深めることができました。

④高岡市で第26回県ろうあ者大会を開催しました。

平成27年5月31日に、第26回県ろうあ者大会が、高岡市のウイングウイング高岡で約320名の参加のもと、盛大に開催されました。元全日本ろうあ連盟副理事長の松本晶行氏の講演、手話コーラスと劇のアトラクションも楽しませてくれました。主管担当の高岡ろうあ友会と高岡地区手話サークルの皆さま、お疲れ様でした。

⑤第58回北信越ろうあ者大会・第42回北信越手話通訳問題研究集會に開催に向けて

平成28年10月1日（土）～2日（日）、射水市にて第58回北信越ろうあ者大会・第42回北信越手話通訳問題研究集會を開催することになりました。平成27年11月に実行委員会を立ち上げ、3月まで3回協議を重ねました。旅行会社も選定し、講師打診など本格的に準備を進めています。

⑥文化の集いの他、事業は予定通り実施しました。

第37回文化の集いは、富山市総合社会福祉センターを会場に約240名集まり、東京からろう者の梶原瑞穂さんを迎えフィリピンのろう者の現状や支援について話して頂きました。ステージ発表、活動展、作品展、バザーなどで楽しくにぎやかな一日となりました。

その他の行事、フォーラム、講座等の開催はおおむね計画通りに実施しました。全国手話研修センター主催の第10回全国手話検定試験では141名の受験申込みがあり、109名が受験しました。

⑦富山県聴覚障害者センターの運営の状況

富山県聴覚障害者センターは、職員が2名退職し、新たに2名入りました。引継ぎの年度であり、全国ろうあ女性集会の事務局実務を担う中で、センターの運営を滞りなく進められるよう努めましたが、利用状況は全体的に昨年より若干減りました。来所者6,794名、意思疎通支援事業の利用は全体で1,017件、部屋貸出は503件、相談対応は91件です。高齢部の交流サロンは18回開催の支援ができました。さらに利用しやすいセンターになるよう努力していきます。

⑧会員の状況

正会員は273名（県外会員2名含む）となりました。前年度の納入数が262名（県外会員3名含む）ですから11名増加しました。会費未納者には富山ろう友を1月から発送停止しましたが、一人ひとりの様子を確認して繰り返し納入をお願いしてきました。

賛助会員は69名となり、正会員と賛助会員を合計すると会員数は342名です。

平成27年 事業報告 ()は全体の数

事業名	開催月日	場所	参加数
第1回評議員会・理事会	5月24日	聴覚障害者センター	38名
第26回富山県ろうあ者大会	5月31日	ウイングウイング高岡	約320名
組織活動者研修会（石橋全日ろう連理事）	7月5日	聴覚障害者センター	41名
第45回将棋大会	8月1日	聴覚障害者センター	11名
ブロック対抗ボウリング大会	8月2日	富山地铁ゴールテルボウル	30名
山の集い	8月23日	立山方面	15名
富聴協・富通研・県サ連三団体合同学習会	9月12～13日	富山市山野スポーツセンタ	40名
第10回全国手話検定試験5・4級 87名申込	10月10日	聴覚障害者センター	受験58名
第10回全国手話検定試験3・2級 36名申込	10月11日	聴覚障害者センター	受験33名
第10回全国手話検定試験準1級・1級 18名申込	10月17日	聴覚障害者センター	受験17名
第2回理事会	10月31日	聴覚障害者センター	20名
第45回全国ろうあ女性集会（主管開催）	10月23～25日	富山国際会議場・他	580名
第37回文化の集い（共同募金受配事業）	11月8日	富山市総合社会福祉センタ	約240名
第18回労働フォーラム	12月6日	聴覚障害者センター	17名
スポーツの集い 第17回ビーチバレー大会	11月29日	大門総合体育館	45名
第15回ろう教育フォーラム	11月15日	聴覚障害者センター	35名
（第16回）全国手話通訳者統一試験	12月6日	聴覚障害者センター	受験15名
第18回医療フォーラム（本会後援）	12月13日	聴覚障害者センター	20名
第28回麻雀大会	1月9日	聴覚障害者センター	12名
（第4回）全国統一要約筆記者登録試験	2月21日	聴覚障害者センター	受験8名
第28回耳の日福祉集会&センター9周年イベント	3月6日	聴覚障害者センター	80名
第2回評議員会・第3回理事会	3月20日	聴覚障害者センター	32名

(2) 会議開催

① 理事会の開催 (理事定数13名、監事2名)

5月24日(日)	第1回(通算第37回)	理事13名、監事2名出席
7月1日(水)	第2回(通算第38回)	理事13名、監事2名出席
10月31日(土)	第3回(通算第39回)	理事13名、監事2名出席
3月20日(日)	第4回(通算第40回)	理事13名、監事1名出席

② 評議員会の開催 (評議員定数35名、監事2名)

5月24日(日)	第1回(通算第22回)	評議員26名、監事2名出席
3月20日(日)	第2回(通算第23回)	評議員25名、監事1名出席

③ 専門部会の開催 (定数20名)

4月26日(日) 午後	第1回	17名出席	県大会の準備と8月までの計画確認他
6月20日(土) 夜	第2回	19名出席	9月までの行事、文化の集い打合わせ他
8月26日(水) 夜	第3回	15名出席	12月までの行事打合わせ、会費納入点検他
10月3日(土) 夜	第4回	16名出席	文化のつどい、会費納入点検他
12月5日(土) 夜	第5回	13名出席	全日ろう連、ろう連への要望、会費納入点検他
1月10日(日) 午後	第6回	15名出席	3月までの行事打合せ他、
2月21日(日) 全日	第7回	16名出席	年間のまとめ、来年度計画

④ 運営委員会の開催 定員7名 評議員会、理事会の事前確認、職員募集、監査対応等

1) 平成27年5月12日(火) 5月評議員会・理事会の議題確認、職員異動他

2) 平成27年10月28日(水) 10月理事会の議題確認、県要望交渉、北信越大会・北通研集会、手話言語法の取組み他

3) 平成28年3月14日(月) 3月評議員会・理事会の議題確認他

以上3回開催しました。

(3) 富山ろう友編集、発行

A4版24ページ 毎月560～580部印刷

内 訳	平成28年3月号	参考;27年10月
印刷部数	570部	580部
発送部数	565部	577部
贈呈※	96部	96部
協会正会員	214部	222部
県内賛助会員	58部	60部
県内一般購読者	150部	153部
県外賛助会員	11部	12部
県外一般購読者	36部	34部

※贈呈先

県市町村及び社会福祉協議会、全日本ろうあ連盟及び連盟加盟団体他、提出用2部。

(4) 共同募金配分金助成事業の実施

① 聴覚障害者文化活動促進事業 (第37回文化の集い)

日程 平成27年11月8日(日)

会場 富山市総合社会福祉センター

参加者 約240人

内容 ステージ発表コンクール、活動紹介展・作品展他

ステージ発表では、手話を学ぶ健聴者の手話スピーチコンテスト、手話サークルなどの発表、絵本の手話語りパフォーマンスを行いました。協会・手話サークル・関係団体の工夫をこらした活動展示、会員や手話サークルでの思い思いに味わいのある作品展で楽しく交流できました。

②富山のろう者の手話語りパート2制作事業

昭和50年代～平成の初め頃、協会の活動が活発になった頃のろう者の活動や仕事の様子を手話で語ってもらいました。6人のろう者に協力してもらい、職場のこと、スポーツ活動のこと、演劇活動のこと、協会活動のこと、地域での生活のこと等について貴重な話を、魅力ある手話表現のもと収録できました。ろう者の社会参加が活発になった頃の手話語りをろう青年達や手話を学ぶ人達に見てもらい、また集団で見ることにより、ろう者の活動や夢、当時の背景、手話の魅力などの学習に活用できる教材が作成できました。

(5) 全国ろうあ女性集会開催

平成27年10月23日（金）～25日（日）に、富山国際会議場等にて開催しました。女性部を中心とした実行委員会で2年に渡って協議・準備を重ねました。寄付金・広告集めも目標額を超えました。100名を超える要員の温かいおもてなしで、県外の参加者400名は満足に分科会で学習を深め、社会見学、交流会で富山の観光、味を楽しめました。

(6) 手話言語法制定の取り組み

全日本ろうあ連盟手話言語法制定推進運動本部が全国の議会で採択の運動を進めている「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」全国では、47都道府県、1,741区市町村で採択され、100%達成と歴史的な採択数となりました。手話言語法制定を求める全国集会に、夏は4名、冬は1名派遣しました。夏の全国集会では富山県選出国會議員6名本人に面会し、手話言語法制定への理解と支援をお願いすることができました。

(7) 聴覚障害者制度改革推進富山県本部の取り組み

情報アクセシビリティ・フォーラム2015は、12月12日～13日、東京の秋葉原にて開催しました。12日の式典および各企画に秋篠宮妃殿下および佳子内親王殿下のお成りや安倍昭恵首相夫人のご臨席をいただき、私たちの取り組みが大きく報道に取り上げられました。シンポジウム、ワークショップ、聴覚障害者に関する機器展示など、一万ほどの参加者が聴覚障害者の情報アクセシビリティの重要性を学習しました。

(8) 聴覚障害者災害救援富山県本部の取り組み

運営委員会の開催1回 平成27年8月12日（水）出席者8名

県総合防災訓練、南砺市の避難訓練事業、センターの避難訓練について打ち合わせ
聴覚障害者災害救援中央本部からのリーフレット活用、緊急連絡体制の状況について協議。災害が発生したときの具体的な救援活動のマニュアル整備が課題。

平成27年9月6日（日）県総合防災訓練参加 滑川市体育センターをメイン会場に

平成27年10月17日（土）在宅障害者が学ぶ避難訓練事業参加 マーシ園

（9）特定非営利活動法人大きな手小さな手デイサービス事業所への協力

本会は、NPO法人大きな手小さな手の正会員となり、高齢聴覚障害者の支援の取り組みに協力しています。活動の様子は富山ろう新聞にて毎月原稿を掲載してもらっています。集めた寄付金で家屋改修費に充当することができました。デイサービスが安定的に運営できるよう、引き続きの支援を呼びかけていきたいと思えます。

（10）社会福祉法人全国手話研修センター主催 第10回全国手話検定試験富山会場の実施

富山県試験会場の受験申込者数141名（昨年139名）、受験者数109名（昨年116名）、合格者数は99名（昨年102名）となりました。手話講習会の受講者、手話サークル会員、手話の授業がある専門学校等の学生などが受講されました。

（11）富山県障害者施策推進フォーラム協議会

平成27年度は、主に、障害者差別解消に関する「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共に輝く富山県づくり条例」のガイドライン策定、地域相談員委嘱等の相談体制づくり、研修会参加呼びかけなどについて協議しました。

（12）要望取り組み

- ①富山労働局との懇談 4月15日（水）7名出席、労働局から2名
- ②県障害福祉課要望懇談 11月6日（金）13名出席、障害福祉課から3名

（13）体育各部の活躍

- ①第64回北信越ろうあ者体育大会 平成27年6月27日～28日 長野県上田市
野球、卓球、ゲートボール、ボウリング競技に出場
- ②第49回全国ろうあ体育大会 平成27年9月17日～20日 京都府
卓球、陸上競技に出場

（14）その他

- ①事務局実務打ち合わせ会 月1回、午後6時40分～8時頃
- ②2名の職員の退職と採用
- ③平成27年7月1日～平成29年6月30日の第6期理事会・評議員会任期に対応し、委嘱状等の手続きを進めました。平成27年7月1日から事務局長と施設長を分ける体制がスタートしました。
- ④平成27年2月の富山市指導監査課の監査で指摘を受け、本会の定款について目的、資産の区分、種別の一部変更を5月24日の評議員会・理事会で承認にあつて、富山市に定款変更認可申請を5月28日付けで行い認可を受けました。それをもって富山法務局に対して6月29日付けで定款の目的、資産の区分、種別の変更を行ったことの変更登記申請を行いました。また、平成27年6月3日に試算の総額の変更登記申請をしました。平成27年7月1日の理事会にて第6期における理事長を石倉義則とする議題他を承認頂いた後、7月28日付けで理事長重任の富山法務局登記申請を行いました。

- ⑤平成27年度から社会福祉法人新会計基準に完全に移行しました。決算の確認で、税理士からのチェックと指摘で、内部取引の消滅の処理作業を行うなどの対応をしました。
- ⑥平成27年5月31日の第26回富山県ろうあ者大会・高岡市（高岡ろう友会主管）の開催支援をしました。
- ⑦第27回富山県ろうあ者大会・立山町（中新川ろう友の会）の開催準備を行いました。
- ⑧各専門部、特別委員会の活動
- ⑨各支部協会との連絡・連携
- ⑩県、富山と高岡聴覚総合支援学校、県社会福祉協議会、県身体障害者団体協議会他との連絡、会議
- ⑪県障害者福祉普及啓発キャンペーン
 - ・普及啓発イベント とやま共生フォーラム 平成28年11月22日（日）国際会議場協会・センター紹介展示、手話体験コーナー、手話通訳者と要約筆記者派遣
- ⑫北信越ろうあ連盟、一般財団法人全日本ろうあ連盟、NPO法人ろう教育を考える全国協議会、社会福祉法人全国手話研修センター（後援会）との連携
- ⑬関係団体との連携
- ⑭協会設立60周年記念誌「60年のあゆみ 過去、現在、そして未来へ」販売
情報・アクセシビリティフォーラム報告書「音をつかむ未来をつかむ」販売

2. センター運営事業

平成27年度の富山県聴覚障害者センター来所者は約6,794名（前年度6,946名）。生活訓練講座、手話通訳者養成・研修等の講座、関係団体の部屋利用等、たくさんの方々に利用していただきました。平成27年3月の耳の日福祉集会開催時に、センター9周年イベントを開催しました。

※センターの業務（センター運営費補助金申請で提出の業務項目）

- ①手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣を行う。
- ②手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成、研修の充実に努める。
- ③手話講習会の充実、指導者の派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及に努める。
- ④字幕・手話付きビデオライブラリーの貸し出しを充実するため、リストの整備・発行、貸出業務の迅速化に努めるとともに、自主番組を制作する。
- ⑤聴覚障害児・者に関わる相談支援に努める。
- ⑥IT等による聴覚障害者への情報提供に努める。
- ⑦視聴覚情報機器の貸し出しを行う。
- ⑧大研修室と、研修室等の貸し出しを行う。
- ⑨聴覚障害者を対象にした各種講座開催、文化・スポーツ等のイベント支援に努める。
- ⑩広報誌発行やイベント等による啓発活動に努める。

1. 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳・介助員の派遣 () は平成26年度

	手話通訳者派遣		要約筆記者派遣		盲ろう者向け通訳・介助員派遣		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14市町村から受託の意思疎通支援等事業	508 (474)	582 (534)	16 (3)	38 (10)			524 (477)	620 (544)
富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳設置事業	※97 (173)	※97 (173)					※97 (173)	※97 (173)
富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業					122 (132)	182 (211)	122 (132)	182 (211)
富山県コミュニケーション支援事業	28 (25)	44 (33)	11 (5)	34 (13)			39 (30)	78 (46)
富山県障害者社会参加総合推進事業・生活訓練講座等における手話通訳派遣	30 (54)	53 (83)	4 (1)	14 (3)			34 (55)	67 (86)
一般派遣	282 (213)	513 (423)	16 (40)	49 (96)			298 (253)	562 (519)
合計	848	1,192	47	135	122	182	1,017	1,509
平成26年度の合計	939	1,246	49	122	132	211	1,120	1,579

※富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳者設置事業の平成27年度実績数については、市町村・県・講座等・一般派遣の実績数の中に含まれているので、合計数には加算していません。

2. 富山県障害者社会参加総合推進事業の手話通訳者、盲ろう向け通訳・介助員、要約筆記者の養成・研修事業を実施しました。

3. 手話講習会の講師派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及

- ①18機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣。
- ②テキスト、参考図書については、手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」「新しい手話2016」「わたしたちの手話 学習辞典Ⅰ、Ⅱ」「聴さんと学ぼう」等、映像媒体を含めて809点の販売がありました。
- ③社会福祉法人全国手話研修センター主催の第10回全国手話検定試験5級から1級まで全級の試験会場をセンターで開催し、手話学習者、手話ボランティアなどへ、手話学習の目標の一つとして総計141名から受験申込み頂き、当日は109名の方が受験され、99名の方が合格されました。
- ④センターのコミュニティ・サロンにテキスト、参考図書コーナーを設け、利用者がセンター内での学習に利用できるようにしました。

4. 聴覚障害者向けの手話・字幕番組の自主制作

- ①収録 平成27年手話通訳者養成「通訳Ⅰ」受講者選定読み取り試験映像収録
CS「目で聴くテレビ」提供の「富山の手話」解説収録

第26回富山県ろうあ者大会in高岡収録（5月31日）

平成27年度組織活動者研修会講演 石橋太吾氏講演収録（7月5日）

手話コーパス構築手話収録協力 10月30日～31日 2組×8組 16人の収録

第45回全国ろうあ女性集会交流会クイズの映像収録

第45回全国ろうあ女性集会全体講演・分科会収録

第37回文化の集い 11月8日収録

早瀬憲太郎氏の手話で学ぶ日本語講座 12月19日収録

共同募金助成事業「富山県のろう者の手話語り・パート2映像制作事業」収録

②編集 CS「目で聴くテレビ」の「富山の手話」（5分×2本）5月12日・26日放送

第45回全国ろうあ女性集会交流会クイズの映像 10月24日の交流会で使用

富山県ろうあ者大会、文化の集いの貸し出し用DVD作成

組織活動者研修会の貸し出し用DVD作成

全国ろうあ女性集会記録作成用DVD作成、貸し出し用DVD作成

共同募金助成事業「富山県のろう者の手話語り・パート2映像制作事業」編集

5. 聴覚障害児・者に関わる相談支援

（前年度 147 件）

	労働	医療	教育	手続	生活一般	通訳依頼	その他	合計
合計	3	3	2	6	50	12	15	91

- ・年金、保険、マイナンバー制度に関すること
- ・住宅修繕や宅地に関すること
- ・人間関係、家族関係に関すること
- ・パソコン、携帯電話、スマホ、ファックスに関すること
- ・身体障害者手帳交付、補装具、日常生活用具に関すること
- ・介護保険サービスに関すること
- ・労働に関すること 職場での悩みなど
- ・難聴者との手話学習、相談、生活支援等
- ・その他、文書の内容説明、手話通訳、活動に関することについての相談

6. IT等による聴覚障害者への情報提供

- ①富山県聴覚障害者センターの業務・利用の紹介、富山県聴覚障害者協会の活動・行事紹介等をインターネットホームページ、ブログで毎月更新し、情報提供しました。
- ②コミュニティ・サロンのインターネット接続可能なパソコンを利用者に利用してもらいました。
- ③CS障害者放送統一機構の「目で聴くテレビ」を録画し、随時、センター来所者に見てもらいました。
- ④映画館で上映される日本映画の字幕版上映日時を県聴覚障害者協会の役員・支部、富山・高岡聴覚総合支援学校、難聴者団体等にファクス案内しました。

7. 視聴覚情報機器の貸し出し

プロジェクタ	プレゼン・要約筆記用	8
パソコン	プレゼン・要約筆記用	1
スクリーン	プレゼン・要約筆記用	3
OHC（書画カメラ）	要約筆記用他	1
小型LED文字表示器	防災訓練	1
その他	無線呼出器、ヘッドフォンセット等	3

8. 大研修室、研修室等の貸し出し

(前年度552件)

貸し出し室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大研修室	1	2	6	3	8	3	4	4	5	2	6	4	48
大研修室A	0	3	2	2	3	3	3	3	3	0	3	0	25
大研修室B	0	2	0	1	0	0	3	1	1	0	0	0	8
研修室	11	11	16	16	14	12	15	17	13	7	16	12	160
ボランティア交流室	13	10	9	10	8	14	19	10	7	10	10	17	137
コミュニティ・サロン	6	1	3	4	5	5	8	3	0	1	2	6	44
和室	2	2	4	2	1	1	1	2	1	1	2	2	21
スタジオ	0	2	1	0	0	1	8	2	2	0	1	0	17
ミーティング・ルーム	6	6	4	1	2	2	6	1	5	3	2	5	43
合計	39	39	45	39	41	41	67	43	37	24	42	46	503

①利用団体

富山県聴覚障害者協会関係、全国ろうあ女性集会実行委員会、北信越大会実行委員会、富山市聾唖福祉協会、滑川市ろうあ福祉協会、高岡ろう友会、富山ドラゴンズ、陸上部、富山聾史研究グループ、富山盲ろう者友の会、富山県聴覚障害者の医療を考える会、富山県聴覚総合支援学校同窓会、人工内耳友の会、富山県手話通訳問題研究会、富山県手話サークル連絡協議会、手話サークルあざみ・若葉・あゆみ、全国要約筆記問題研究会富山支部、北信越ろうあ連盟、北信越手話通訳問題研究会、全国手話研修センター手話研究所標準手話確定普及研究部北信越班、北陸教育オージオロジー研究会、富山県障害者施策フォーラム推進協議会、

②ボランティア交流室のロッカー貸し出し団体 10団体

富山県手話通訳問題研究会、富山県聴覚障害者の医療を考える会、富山県手話通訳士会、手話サークルあざみ、手話サークルあゆみ、富山盲ろう者友の会、富山聾史研究グループ、社会福祉法人富山県聴覚障害者協会女性部・青年部・高齢部、

9. 聴覚障害者を対象にした講座・イベント・デイサービス活動等の支援

- ①高齢部交流サロンは1月を除き、月1回～2回、全体で18回開催されましたが、このうち、センターでは16回開催しました。JR富山駅～センターの送迎の他、交流内容の企画相談、実施の支援等を行いました。
- ②難聴者の集まり「ひつだんサロン虹」は1回開催されました。
- ②平成28年3月6日（日）センター開所9周年イベントを2016耳の日福祉集会と一緒に開催しました。映像ライブラリーからの上映会と貸出のPR、障害者差別解消法・富山県条例についての講義とシンポジウム、図書販売等を行いました。
- ③5月31日（日）高岡市で開催の第26回富山県ろうあ者大会の他、第37回文化の集い、第45回将棋大会、第28回マージャン大会等の行事開催を支援しました。
- ④富山県障害者社会参加総合推進事業の聴覚障害者生活訓練事業の講座開催を支援。平成27年4月5日～平成28年3月27日 全45回 参加数のべ1,407名。この内、富山県聴覚障害者センターで開催したものは16講座。参加者のべ283名

10. 広報誌発行やイベント等による啓発活動。

- ①協会機関紙「富山ろう友」の発行支援と「センターだより」掲載
「センターだより」をもうけて、センターの利用状況と利用案内を掲載しました。
- ②手話通訳・要約筆記派遣、字幕付きビデオ貸し出し、センター利用の手引きを聴覚障害者、富山聴覚総合支援学校、高岡聴覚総合支援学校他の関係機関等に配布しました。

11. その他

①センター来所者実績 (前年度6,946人)

来所客	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障害者	324	236	247	217	241	217	360	254	269	125	224	315	3,029
健聴者	189	212	333	263	506	333	395	361	317	196	375	285	3,765
合計	513	448	580	480	747	550	755	615	586	321	599	600	6,794

②センター見学の実績 72人ほど。

龍谷富山高校校外実習、八尾高校校外実習、富山県聴覚総合支援学校他、個人

③福祉サービス苦情解決については、特段の苦情はありませんでした。改善要望はいくつかあり、記録整備をきちんとしていくことが課題となっています。

④防火管理については、9月に警報・消火器の点検と消防計画担当を確認しました。

手話サークルあゆみと若葉に協力してもらい避難訓練を初めて実施しました。

富山県総合防災訓練に現地会場とセンターをスカイプでつないでもらい、連絡、情報提供、遠隔地手話通訳等の訓練をしました。

⑤スタジオのエアコン室外機一つ、キッチンの温水器の弁の修繕をしました。

⑥職員の研修、福利厚生

職員全員が健診を受けました。県外出張の研修は下記の三つです。

平成27年6月2日（水）～4日（木）NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
理事会、2015年度総会、第11回大会（山口）2名

平成27年7月8日（水）～10日（金）NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
コミュニケーション支援担当者研修会（京都市）1名

平成27年11月11日（水）～13日（金）NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
聴覚障害者向けソフト制作担当研修会（群馬県）1名

⑦センターにかかる業務委託契約については下記の通り変更はありません。

セキュリティ（火災保険）	セコム北陸株式会社
清掃	株式会社 ホクタテ
エレベーター保守	東芝エレベーター株式会社
パソコン、プリンタリース	北陸リース株式会社
自動販売機	合同会社エス・ブイ北陸（旧・北陸富士ベンディング株式会社）
ケーブルテレビ	株式会社ケーブルテレビ富山（コミュニティコース）
電話回線	NTT西日本 I S D N 2回線、 フレッツ・光プレミアム ファミリー
インターネット	トナミ運輸株式会社トナミインターネットサービス コーラルネット（ホスティングサービス）

3. 公益事業

公益事業は、富山県から「富山県障害者社会参加総合推進事業」、「富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業」、「富山県コミュニケーション支援広域派遣事業」の委託、富山市を除く14市町村から障害者総合支援法・地域生活支援事業における意思疎通支援事業の委託を受けて事業を実施しました。

また、自主事業として手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員、手話講習会講師派遣の事業を実施しました。

1. 富山県障害者社会参加総合推進事業

(1) 平成27年度手話通訳者養成・研修事業

①手話通訳者養成講習会・手話通訳者現任研修会

受講数・修了数；

	手話通訳Ⅰ	手話通訳Ⅱ	実践課程	現任研修	合計
受講者数	13人	11人	13人	55人	92人
修了者数	13人	8人	13人		33人
延べ受講者数	181人	119人	103人	210人	613人

講 師；富山県聴覚障害者協会役員及び富山県手話通訳問題研究会員

a. 手話通訳Ⅰ

期 間；平成27年6月20日～平成28年2月27日 土曜日全16回36講座（実技32、講義4）

13:00～16:45 2講座開催。 _____ の日は10:30～12:00講義を行った。

- ①6月20日 ②6月27日 ③7月18日 ④7月25日 ⑤8月8日 ⑥8月29日
 ⑦9月5日 ⑧10月3日 ⑨11月7日 ⑩11月28日 ⑪12月19日 ⑫1月23日
 ⑬1月30日 ⑭2月6日 ⑮2月20日 ⑯2月27日

場 所；富山県聴覚障害者センター

b. 手話通訳Ⅱ

期 間；平成27年5月10日～平成28年2月7日 日曜日全15回34講座（実技30、講義4）

13:30～16:45 2講座開催。 _____ の日は10:30～12:00講義又は実技を行った。

- ①5月10日 ②6月7日 ③6月21日 ④7月19日 ⑤7月26日 ⑥8月9日
 ⑦8月30日 ⑧9月6日 ⑨10月4日 ⑩10月18日 ⑪11月29日 ⑫12月6日
 ⑬12月20日 ⑭1月24日 ⑮2月7日

場 所；富山県聴覚障害者センター

c. 実践課程

期 間；平成27年5月9日～12月1日 土曜日他全14回

実践課程 10回15講座（実技12、講義3）

手話通訳者全国統一試験対策フォローアップ 4講座

- ①5月9日 ②6月6日 ③7月4日 ④8月1日
 ⑤実習8月9日 ⑥実習8月12日 ⑦実習8月26日 ⑧実習9月5日
 ⑨実習9月6日 ⑩10月3日 ⑪11月10日 ⑫11月21日
 ⑬11月26日 ⑭12月1日

場 所；富山県聴覚障害者センター

d. 手話通訳者現任研修

期 間；平成27年 8 月 9 日～平成28年 3 月27日 全 6 回

① 8 月 9 日 ② 9 月20日 ③11月29日 ④ 1 月24日 ⑤ 2 月14日
⑥ 3 月27日

場 所；富山県聴覚障害者センター

e. 手話通訳者をめざす人の技術アップ講座

期 間；平成27年 5 月 9 日（土）～9 月20日（日）全 7 回

① 5 月 9 日 ② 6 月 7 日 ③ 6 月28日 ④ 7 月11日 ⑤ 8 月29日
⑥ 9 月12日 ⑦ 9 月20日

場 所；富山県聴覚障害者センター

受講者；のべ35人

②手話通訳者登録試験

期 日；平成27年12月 5 日（土）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受験数；14人

合格者；なし（登録手話通訳者は81人と変わらず）

③講師養成講習会派遣

a. 社会福祉法人全国手話研修センター主催の「手話奉仕員養成及び手話通訳者養成担当講師リーダー養成研修会」北信越ブロック会場に 6 名派遣しました。

平成27年 8 月29日（土）～30日（日）手話奉仕員養成 ろう者 5 名、健聴者 1 名
3 月12日（土）～13日（日）手話通訳者養成 ろう者 1 名

会場 新潟県糸魚川市

b. 社会福祉法人全国手話研修センター主催の「手話通訳者養成担当講師の養成連続講座、手話通訳Ⅱ」石川県会場にろう者、健聴者 2 名派遣しました。

平成27年 5 月23日・24日～平成28年 2 月20日・21日 全 8 回

都合によりろう者は 6 回、健聴者は 7 回出席。欠席回の内容については、平成28年度の連続講座で補講を受けることとしています。

④盲ろう者向け通訳・介助者養成

a. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会

期 間；平成27年 8 月23日～11月22日 日曜日、全 8 回22講座

① 8 月23日 ② 9 月13日 ③ 9 月20日 ④10月 4 日 ⑤10月18日
⑥11月 1 日 ⑦11月15日 ⑧11月22日

場 所；富山県聴覚障害者センター、サンフォルテ

受講者； 9 名

修了者； 8 名

のべ受講者；計63名

指導者；富山県視覚障害者センター所長、富山盲ろう者友の会、
富山県聴覚障害者協会他

b. 盲ろう者向け通訳・介助員現任研修

期 日；平成28年 3 月12日（土）10:00～12:00

場 所；富山県聴覚障害者センター

内 容；盲ろう者向け・通訳介助員養成のためのモデル研修会参加報告
講 師；小坂 菜七氏
受講者；13人

(2) 平成27年度要約筆記奉仕員養成・研修事業

①要約筆記者養成講習会

手書き要約筆記コース、パソコン要約筆記コース

期 間；平成27年6月7日～平成28年1月31日 日曜日全22回

13:00～17:00、一部に10:00～12:00

- | | | | |
|----------|----------|----------|--------------|
| ①6月7日 | ②6月21日 | ③6月28日 | ④7月12日 |
| ⑤8月2日午前 | ⑥8月2日午後 | ⑦8月9日 | ⑧8月23日午前 |
| ⑨8月23日午後 | ⑩8月30日午前 | ⑪8月30日午後 | ⑫9月6日 |
| ⑬9月13日 | ⑭10月4日 | ⑮10月18日 | ⑯11月15日午前・午後 |
| ⑰11月29日 | ⑱12月6日 | ⑲12月20日 | ⑳1月17日 |
| ㉑1月24日 | ㉒1月31日 | | |

場 所；富山県聴覚障害者センター、富山市総合社会福祉センター

修了者；

	手書き	パソコン	合計
受講者数	5人	3人	8人
修了者数	4人	3人	7人
延べ受講者数	55人	42人	97人

講 師；全国要約筆記問題研究会富山県支部、イヤサポート・つむぎ会
元県立学校教員、富山県聴覚障害者協会

②要約筆記者登録試験（全国統一要約筆記者認定試験）

日 時；平成28年2月21日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受験数；9人 手書き5人、パソコン4名

合格者；パソコン1人 小松裕子さん（富山市）

また、要約筆記者登録試験受験者対象にフォローアップ講座を開催しました。

期 日；平成28年2月7日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受講者；8人

③要約筆記者現任研修

期 日；平成28年3月13日（日）13:00～16:00

場 所；富山県聴覚障害者センター

内 容；難聴者運動と要約筆記の歴史について

講 師；石川県聴覚障害者センター元要約筆記養成担当職員 山村信平氏

受講者；16人

(3) 平成27年度手話通訳者設置事業

- ①下記の通訳・相談活動等97件の他、登録手話通訳者派遣のコーディネート業務を行いました。

内容内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職業・労働	3	1			1				1	1			7
保健・医療			1		1	1		1	1	1			6
教育・育児								1				1	2
申請・交付手続													0
生活一般						1							1
研修・講習等				1								4	5
各種大会・集会	1	2					9	3		1		1	17
各種会議	2	1	1	1		2	1	5	2	2	2	7	26
警察・司法													0
その他	テレビ通訳			1							4	2	7
	学校等指導			2	4	5		3			4		18
	相談等対応							1	2	3		1	7
合計	6	4	4	7	7	4	10	14	6	8	10	16	97

②登録手話通訳者頸肩腕障害予防の特殊検診

期 日；平成27年11月22日（日）

場 所；富山県聴覚障害者センター

受診者；13名

判定結果；A ；10名（76.9%） B 1 ；2名（15.4%）

B 2 ；1名（7.7%） C 1 ；0名（0%）

医師のコメント

A	異常なし
B 1	適度な運動を
B 2	頸、腰の痛みが強くなれば病院受診
C 1	頸、肘、手のしびれ、腰の痛みが強くなれば病院受診

(4) 平成27年度字幕入りビデオカセットライブラリー事業

①対象者の登録

個人；241人 平成27年新規登録者7人

団体；8団体 平成27年度新規登録団体1

②貸し出しの方法

- ・富山県聴覚障害者センター来所による貸し出しと、ファクスにて貸し出し申請を受付し映像媒体を郵送で貸し出しする方法で行いました。
- ・新川地区、中新川地区、富山地区、射水地区、高岡地区、砺波地区にて講座を開催したときに、新規ビデオを中心に貸し出しのPRを行いました。

- ・高岡地区、富山地区、中新川地区及び耳の日福祉集会にて、ライブラリーから選んだタイトルによる上映会を開催し、計121人の鑑賞がありました。

③貸し出しの実績

延べ利用者31人 貸し出し延べ本数80本

④その他、PR等

- ・富山県ろうあ者大会、文化の集いなどの講座を収録し、貸出リストに加えて利用の便を図りました。
- ・字幕、手話入り映像作品の紹介、ライブラリー事業のPR等を協会広報紙の「富山ろう友」紙上に紹介、全タイトル一覧を付けたPRパンフレットを作成、配布して、貸し出しの方法を含めて宣伝、利用促進に努めました。
- ・富山県聴覚障害者センター内で、新規映像テープ・DVDの貸出へ、ライブラリーの整備を行いました。

(5) 平成27年度聴覚障害者生活訓練事業

平成27年4月5日～平成28年3月27日 45講座

参加数のべ 1,330名

①コミュニケーション・情報研修事業 11回

月 日	講 座 名	会 場	参加者
8月1日(土)	日本手話① 手話の男女差と年齢差	富山県聴覚障害者センター	33
8月23日(日)	映画の会①「免許がない」	高岡市ふれあい福祉センタ	11
8月30日(日)	新しい手話① 新しい手話2015	上市町文化研修センター	14
9月5日(土)	講座 協会のこれまでの活動とこれから	富山県聴覚障害者センター	20
9月2日(水)	新しい手話② 新しい手話2015	小杉社会福祉会館	30
9月17日(木)	日本手話② 昔の手話と今の手話	魚津市デイサービスセンター	18
11月28日(土)	新しい手話③	南砺市福祉文化創造センター	16
12月12日(土)	IT活用講座 LINEを使ってみよう	小杉社会福祉会館	11
1月24日(日)	意思疎通支援事業の利用	黒部市国際文化センター	14
3月13日(日)	映画の会② 姿三四郎	サン・アビリティーズ滑川	11
3月23日(水)	映画の会③ 東京物語	富山市総合社会福祉センター	19

②文化・情報研修事業 5回

月 日	講座名	会 場	参加者
5月31日(日)	講演会 全日ろう連参与松本品行氏講演	ウイングウイング高岡	300
8月16日(日)	自然探求(山の集い)	立山方面	15
11月8日(日)	文化講演会 フィリピンのろう者に関わって	サンシップとやま	240
12月27日(日)	文化教養講座 正月の生け花	富山県聴覚障害者センター	10
3月6日(日)	耳の日福祉集会 障害者差別解消法と県条例について	富山県聴覚障害者センター	80

③社会・家庭生活研修事業 27回

月 日	講座名	会 場	参加者
4月5日(日)	高齢講座① 外国旅行で学んだこと	富山県聴覚障害者センター	38

4月5日(日)	新川地区講座① 高齢ろう者の現状とデｲフｰビス大きな手小さな手	黒部市国際文化センター	14
4月12日(日)	高岡地区講座① 高齢ろう者の現状とデｲフｰビス大きな手小さな手	高岡市ふれあい福祉センタ	30
4月12日(日)	砺波地区講座①アジアろう青年キャンプ報告	南砺市福野文化創造センターヘリオス	24
5月17日(日)	青年講座①ヨガ教室	富山県聴覚障害者センター	20
7月11日(土)	福祉講座① マイナンバー制度	富山県聴覚障害者センター	16
7月11日(土)	新川地区講座② 社会見学	新潟県上越市方面	14
7月12日(日)	女性講座① パステルアート	富山県聴覚障害者センター	13
8月22日(土)	料理教室 ブラジル家庭料理	サンフォルテ	12
8月30日(日)	中新川地区講座① 抹茶教室	上市文化研修センター	14
10月20日(火)	新川地区講座③ 太極拳講座	入善町民会館	12
10月18日(日)	青年講座② 野球教室	高岡総合支援学校	17
11月15日(日)	砺波地区講座② 社会見学	朝日町、黒部市方面	25
11月28日(土)	交通講座 高速道路での安全通行	富山県聴覚障害者センター	22
11月29日(日)	高齢講座② 富山の手話100選	富山県聴覚障害者センター	20
12月6日(土)	労働講座 A型作業所・改正障害者雇用促進法	富山県聴覚障害者センター	14
11月15日(日)	教育講座 勇気づけのろう教育	富山県聴覚障害者センター	35
2月14日(日)	教育講座 ろう教育全国討論集会から	富山県聴覚障害者センター	12
12月20日(日)	高岡地区講座② 魚の料理教室	高岡市ふれあい福祉センタ	23
1月31日(日)	青年講座③ そば作り体験	サンフォルテ	15
2月27日(日)	福祉講座② 認知症対策	富山県聴覚障害者センター	10
2月7日(日)	高齢講座③ 料理教室 巻き寿司	サンフォルテ	19
2月14日(日)	身体障害者相談員担当者研修	富山県聴覚障害者センター	9
2月28日(日)	砺波地区講座③ 陶芸教室	陶房匠の里	13
3月13日(日)	中新川地区講座② 時事解説	サン・アビリティーズ滑川	11
3月13日(日)	高齢・女性・青年合同講座 活動情報交換	富山県聴覚障害者センター	22
3月27日(日)	女性講座② 茶道体験	サンフォルテ	16

④レクリエーション事業 2回

月 日	講座名	会 場	参加者
8月2日(日)	ボウリング大会	富山地鉄ゴールデンボウル	30
11月29日(日)	スポーツの集い	射水市大門町総合体育館	45

2. 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

・正味派遣数122件、派遣者のべ182人

労働	医療	教育	申請	生活	講習等	集会等	会議等	警察等	その他	移動のみ
0	3	0	3	13	39	10	17	1	0	36

3. 富山県コミュニケーション支援広域派遣事業

派遣費用の支払いが受けられる場合除き、①公的機関等が主催又は共催する行事等、②障害

者団体等が主催又は共催する県全域を対象とする行事等、③きわめて専門性が高く市町村のコミュニケーション支援事業での対応が困難と認められる場合、④県外にわたる広域派遣の連絡・調整等に要する費用、⑤その他、実施主体の長が必要とが認められた場合の範囲で派遣するものです。主に県聴覚障害者協会、県障害者団体協議会などの会議や研修会に派遣しました。

正味派遣数39件（手話通訳28件、要約筆記11件）

派遣者のべ78人（手話通訳44件、要約筆記34件）

4. 各市町村受託事業

①14市町村から受託の意思疎通支援事業等については、下記の通り、手話通訳者派遣依頼正味件数508件（派遣のべ582人）、要約筆記者派遣依頼正味件数16件（派遣のべ38人）、合計派遣依頼正味件数524件（派遣のべ人数620人）となりました。

依頼正味件数524件を10分野に分けた実績は下記の通りです。

労働	医療	教育	申請	生活	講習等	集会等	会議等	警察等	その他
4	278	44	17	87	27	30	36	0	1

①朝日町意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数21件（派遣のべ21人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

②入善町意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数28件（派遣のべ29人）

要約筆記者派遣 正味件数2件（派遣のべ2人）

③黒部市コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数90件（派遣のべ93人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

④魚津市コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数8件（派遣のべ9人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑤滑川市聴覚障害者コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数106件（派遣のべ117人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑥上市町コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑦立山町コミュニケーション支援事業

手話通訳者派遣 正味件数6件（派遣のべ6人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑧舟橋村意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑨射水市意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数45件（派遣のべ62人）
要約筆記者派遣 正味件数2件（派遣のべ5人）

⑩高岡市意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数106件（派遣のべ122人）
要約筆記者派遣 正味件数10件（派遣のべ23人）

⑪氷見市意思疎通支援事業

手話通訳者派遣 正味件数13件（派遣のべ15人）
要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑫砺波市手話通訳者等派遣事業

手話通訳者派遣 正味件数6件（派遣のべ9人）
要約筆記者派遣 正味件数1件（派遣のべ4人）

⑬小矢部市手話通訳者等派遣事業

手話通訳者派遣 正味件数24件（派遣のべ30人）
要約筆記者派遣 正味件数0件（派遣のべ0人）

⑭南砺市手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

手話通訳者派遣 正味件数55件（派遣のべ69人）
要約筆記者派遣 正味件数1件（派遣のべ4人）

5. 手話通訳者・要約筆記者一般派遣

主催者から派遣費用が支払われる県全域を対象にした大会、集会、研修会、講座、会議等、その他県外からの依頼等については公益事業の一般事業で対応しました。

手話通訳者派遣 正味件数282件、派遣者のべ513人

要約筆記者派遣 正味件数16件、派遣者のべ49人

6. 手話講習会等講師派遣

下記、18機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣しました。

- ・富山短期大学 ・富山医療福祉専門学校
- ・県職員研修所手話講座
- ・砺波市手話講習会 ・氷見市手話講習会 ・南砺市手話講習会 ・魚津市手話講習会
- ・富山市手話講習会
- ・富山大学 看護学科、医学学科、人間発達科学部
- ・上市高校 ・となみ野高校 ・南砺福野高校 ・新川みどり野高校
- ・高岡聴覚総合支援学校 ・龍谷富山高校（校外実習） ・八尾高校（校外実習）
- ・YKK（株）黒部事業所
- ・プラチナコンシェルジュ（JR富山駅総合案内）

4. 収益事業

1. 書籍は591冊（前年度940冊）、ビデオは10本（前年度9本）、季刊みみは208冊（前年度136冊）、合計して809点（前年度1,085点）の販売となりました。

講習会 テキスト類	わたしたちの手話 学習辞典	辞典・ ハンドブック	聴覚障害 参考書等	パンフ その他	季刊みみ	DVD
368	188	2	24	9	208	10

2. 手話奉仕員養成テキストは、各地区での講習会のため159冊、指導書は4冊売れました。旧・入門テキストが平成26年度で販売終了になったため、「聴さんと学ぼう」が、103冊（前年度47冊）と売り上げを伸ばしました。今後も短期間の手話講座や手話サークル等で活用して頂きますようお願いいたします。
3. わたしたちの手話学習辞典は改定された学習辞典Ⅰと合わせて67冊（前年度95冊）、学習辞典Ⅱが31冊（昨年度122冊）と、少し販売が落ち込んでいます。講習会の副教材として、また手話検定試験の参考書として呼びかけをお願いします。
4. 新刊図書は「私たちの手話学習辞典Ⅰ」「新しい手話2016」で、それぞれ55冊、59冊と、売り上げは順調でした。
5. 季刊みみは、平成27年度に発刊されたものは147号、148号、149号、150号の4冊で、149号から仕入れを50冊から60冊に増やしました。各ブロック及び青年部に配布して販売し、206冊売れました。
6. 他にも、「守ろう LIFE!」「手話で防災」「一人ひとりが輝く」、「21世紀のろう者像」、「きこえない子どもと共に」「手話検定試験」「手話の筆記試験対策テキスト」等、聴覚障害者理解、ろうあ運動の参考になる書籍があることをPRして頂きますようお願いいたします。
また、古い季刊みみや手話コミュニケーションの在庫は文化の集いなどのときに安く販売しています。ろうあ運動の勉強にぜひ買って下さるようお願いいたします。

平成27年度 会計決算報告

1. 全体について

平成27年度期首より準備を進めてきた新しい「社会福祉法人会計基準」での会計処理がスタートしました。基本的な会計処理はこれまでと同じように、本部事業、センター事業、及び公益事業、収益事業の4つの事業（会計）ごとに処理を行ってきました。

社会福祉事業（本部事業、センター事業）、公益事業、収益事業全体の資金収支計算書を合計して下記のようにになりました。

事業活動収入	54,310,082円
事業活動支出	53,021,892円
事業活動収支差額	1,288,190円
当期末支払資金残高	52,044,497円

これにより、当期末支払い資金残高は、合計52,044,497円となりました。財産目録の最後にある「差引純資産」は合計216,524,613円を資産の総額に関する登記として行います。

顧問税理士から、今年度もすべての事業において健全かつ正確に会計処理がなされており、経営も順調に進んでいるという判断をいただきました。

決算修正処理では例年通り、本部事業とセンター事業間の経費の按分や、公益事業と本部事業、センター事業間の経費の按分についても、割合は按分根拠に基づき適正に行いました。収益事業での当期資金収支差額266,859円は、例年同様に公益事業への繰り入れる処理をしました。その上で、公益事業より2,269,993円を本部事業へ繰り入れました。

これらの決算修正処理での経費按分処理や、事業区分間での資金の繰入処理等は、新会計基準では同一法人内の内部取引処理にあたり、決算で内部取引消去させなければならないということになっております。旧会計では、それらは未収金と未払金に振り替えていましたが、顧問税理士の助言を受けて、繰入処理は各区分間繰入金収入・支出という科目を使い、経費の按分処理は各区分間貸付金・借入金という科目を使って内部取引処理を行いました。これらの科目は正確に処理されていれば、必ず借方と貸方で同じ金額が計上されるので、最終的に法人全体としては相殺消去されます。よって、法人全体を表す決算書類では相殺される為、その金額は計上されませんが、それぞれの事業別や拠点別等の内訳表で確認することができます。

また、昨年5月の理事会・評議員会で承認頂いたように、センター事業の「その他の積立金」98,700,000円は、新会計への移行処理として今年度の期首で取崩し処理を行いました。これは、以前センター建設の償還金元金補助金の決算会計処理を行っていた時に発生した簿記の理論上の処理でしたので、実際に資金があるわけではありません。新会計基準では、資金が実際にあることが条件となっており、積立金を実際に積み立てずに積立金を計上することは許容されていないため、新会計への移行処理として今年度の期首で取崩し処理を行ったものです。また、本部事業の「その他の積立金」5,000,000円についても、法人設立年度の平成17年度決算処理において簿記の理論上の処理で積み立てた積立金なので期首で取崩し処理を行いました。

2. 社会福祉事業について

(1) 本部事業

* 資金収支計算書

(実際の資金の流れを表す)

事業活動収入計	6,645,156
事業活動支出計	7,626,959
事業活動収支差額	△981,803
その他の活動収支差額	2,269,993
当期資金収支差額	1,288,190
前期末支払資金残高	32,793,761
当期末支払資金残高	34,081,951

* 事業活動収支計算書

(経営状態を表す)

サービス活動収益計	6,642,627
サービス活動費用計	7,642,709
サービス活動増減差額	△1,000,082
サービス活動外収益計	2,529
経常増減差額	△997,553
特別収益計	2,269,993
当期活動増減差額	1,272,440
前期繰越活動増減差額	27,822,640
当期末繰越活動増減差額	29,095,080
その他の積立金取崩額	5,000,000
次期繰越活動増減差額	34,095,080

本部事業の収入の中心は正会員の会費や賛助会費・富山ろう友新聞購読料です。今年度は昨年同時期より、富山ろう友新聞購読料は、昨年より16名分の24,000円が増額となりましたが、賛助会費の方では昨年より約12名分の38,000円が減額となってしまいました。昨年賛助会員だった方が今年は新聞購読料に変わったのではないかと思います。

また、山崎清之前職員の退職にあたり、旧「富山県ろうあ福祉協会」時代を含む昭和55年5月～平成18年12月までの雇用期間分の退職金を、運営委員会で協議の上、本部事業より400万円を支払いました。

公益事業より2,269,993円繰り入れて、当期資金収支差額は1,288,190円となりました。

(2) センター事業

* 資金収支計算書

事業活動収入計	26,692,788
事業活動支出計	26,692,788
経常活動資金収支差額	0
設備整備等資金収支差額	0
当期資金収支差額	0
前期末支払資金残高	9,977,526
当期末支払資金残高	9,977,526

* 事業活動収支計算書

サービス活動収益計	26,692,788
サービス活動費用計	31,912,698
サービス活動増減差額	△5,219,910
特別増減差額	1,637,740
当期活動増減差額	△3,582,170
前期繰越活動増減差額	△2,132,741
当期末繰越活動増減差額	△5,714,911
その他の積立金取崩額	98,700,000
次期繰越活動増減差額	92,985,089

<1. 全体について>で説明したように、「その他の積立金」については、平成27年度の期首に、新会計への移行処理として、合計98,700,000円を振替えて、取り崩す処理を行いました。

また、センターの当期末支払資金残高は、センター運営補助金の30パーセント以下におさえなければならないという厚生労働省の通達に従い、数年前に「人件費積立資産」として留保していた普通預金の3,000,000円につきましても、やはり新会計基準の定義に従って、実際に使用する目的ではない為、元通りに普通預金へ戻す振替処理を行いました。これで、財務諸表は全て新会計基準に準じた正式な形に変わりました。

また、退職された職員の退職金について、当センターが開設された平成19年1月から退職日までの期間については、このセンター事業から毎年共済掛金として支出している、「独立行政法人福祉医療機構」の退職手当共済制度より直接本人へ支給されました。

3. 公益事業について

* 資金収支計算書

事業活動収入計	19,519,903
事業活動支出計	17,516,769
事業活動資金収支差額	2,003,134
その他の活動収支差額	△2,003,134
当期資金収支差額	0
前期末支払資金残高	7,985,020
当期末支払資金残高	7,985,020

* 事業活動収支計算書

サービス活動収益計	19,519,903
サービス活動費用計	17,516,769
サービス活動増減差額	2,003,134
特別増減差額	△2,003,134
当期活動増減差額	0
前期活動増減差額	7,985,020
当期末繰越活動増減差額	7,985,020
次期繰越活動増減差額	7,985,020

すべての委託事業について例年通り共通部分の経費等については、根拠に基づき適正に按分処理を行いました。また、収益会計から、1名分の人件費の補填の為に266,859円の繰入金収入があり、その後、計上された収支差額分の2,269,993円を本部会計へ繰入金として支出して、収支はゼロとしました。

協会独自の公益事業である行政・教育機関・民間団体・企業等からの依頼による、手話通訳者派遣・要約筆記者派遣・手話講習会講師派遣・盲ろう者通訳介助者派遣については手話通訳者派遣収入では昨年度より約22万円の増額でした。主なものは、県内大手企業数社より、入社式や新入社員研修会、社内研修会・社内教育等の通訳派遣依頼が増えていて、派遣人数も多く派遣時間も長いので、かなり大きな収入源となっています。講習会講師派遣収入は残念ながら約10万円の減額となりました。公益一般事業収入全体として見てみると約16万円の減額でした。

この公益事業の収支差額分は、毎年全て本部事業へ繰り入れており、協会運営の維持管理に活用させていただいております。今後もこの財源を協会の健全な運営の為に、有効活用させていただく事にご理解をお願いいたします。

4. 収益事業について

* 資金収支計算書

事業活動収入計	1,452,235
事業活動支出計	1,185,376
事業活動資金収支差額	266,859
その他の活動収支差額	△266,859
当期資金収支差額	0

* 事業活動収支計算書

サービス活動収益計	1,452,235
サービス活動費用計	1,185,376
サービス活動増減差額	266,859
特別増減差額	△266,859
当期活動増減差額	0

収益事業の目的は、社会福祉事業を行う為の財源の確保です。昨年度と同様に、公益会計より支出している1人分の人件費の補填をする為に公益事業へ266,859円を繰入金支出とする方法で計上しました。

テキストが改訂され売り上げが伸びていた昨年度と比べると、今年度は収支差額で約19万円の減額となりました。これからも、手話の学習、聴覚障害者の理解と運動のための貴重な書籍やビデオに対する販売、PR等にご協力をよろしくお願い致します。